

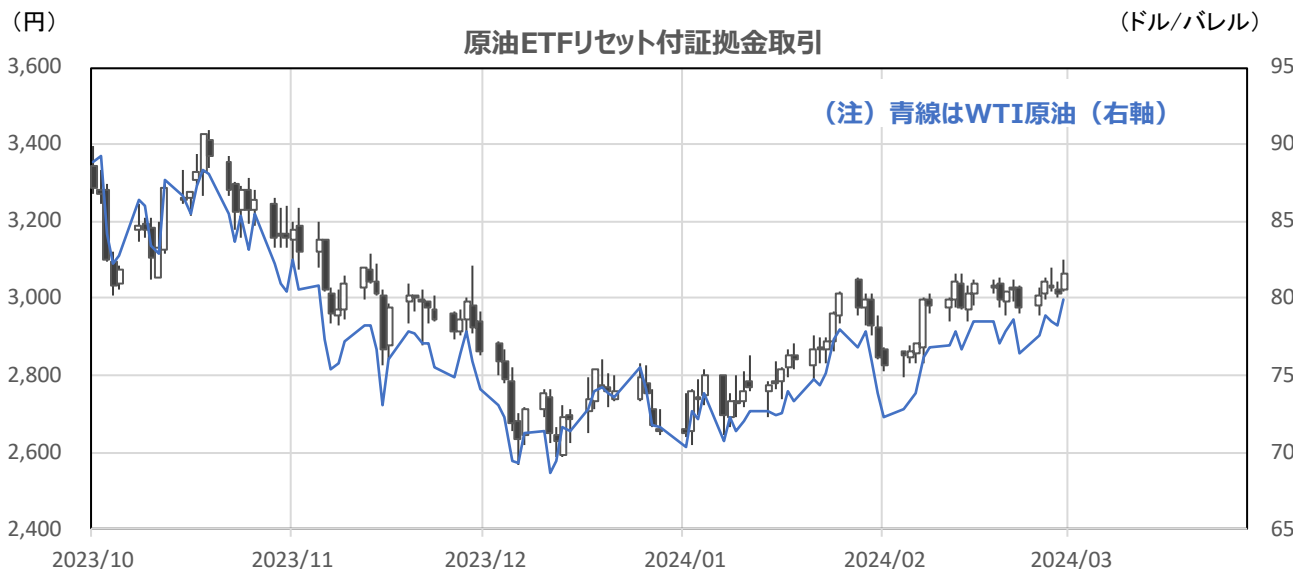
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/03/04号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

地政学リスクの織り込みで一時80ドル台到達

NY原油先物相場は、1バレル=70ドル台後半まで値上がりする展開になった。3月1日高値は80.85ドルに達し、昨年11月7日以来の高値を更新している。引き続き中東情勢に対する警戒感が強い。3月10日からイスラム教のラマダン（断食月）を控えていることもあってイスラエルとハマスの休戦合意を模索する動きも見られたが、早期合意は困難との見方が織り込まれている。引き続き紅海では武装組織フーシ派の船舶に対する攻撃も続いている。また、石油輸出国機構（OPEC）プラスが4月以降の自主減産延長で近く合意するとの見方が浮上したこともポジティブ。

地政学リスク主導の展開が続いている。バイデン米大統領は3月4日までにイスラエルとハマスの休戦合意が可能との見通しを示したが、その後は「難しい」と発言を後退させている。仮に休戦合意が実現すれば急反落を迫られる可能性もあるが、イスラエルとハマスの双方から早期の合意形成には否定的な発言が報じられている。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（2月23日時点）は、原油が前週比420万バレル増、ガソリンが283万バレル減、石油精製品が51万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

地政学リスクで底固い展開、80ドル台には抵抗あるも

中東情勢に強く依存した相場環境が続く。イスラエルとハマスの休戦合意への期待感が高まらず、高いレベルの緊張状態が維持されると、徐々に80ドル台での取引時間が増える見通し。需給ひっ迫化がみられないため、80ドル台から更に大きく上昇する環境にもないが、80ドル台前半で上値切り上げを打診する展開になる見通し。特にOPECプラスの減産延長を巡る議論に進展がみられると、買い安心感が強まろう。

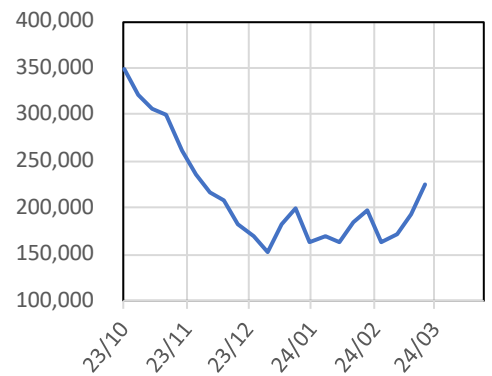
イスラエルとハマスの間では激しい戦闘が続いている。イスラエルはガザ地区南部に対する攻勢を強めており、国際社会の批判に対応していない。休戦協議も行われている模様だが、休戦合意への期待感が高まるまでは、上振れリスクを残した地合になる。引き続き、中東情勢のヘッドラインに一喜一憂する展開になろう。

一方、OPECプラスは日量220万バレル規模の自主減産を実施中だが、4月以降も減産継続の可能性が高まっている。4～6月期、もしくは年末までの減産延長の可能性が協議されている模様だ。3月上旬にも4月以降の方針が決まる見通しであり、更に具体的な動きがみられると買い安心感が強まろう。

米原油在庫は5週連続で増加しており、昨年11月24日の週以来の高水準になっている。製油所稼働率が回復し始めているため在庫急増リスクは限定されるが、在庫の積み増し傾向が続いた場合には調整売りが膨らむ可能性がある。

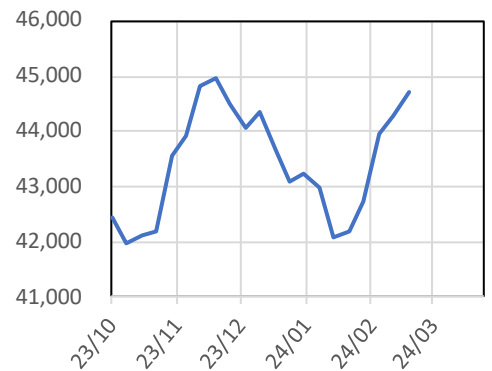
一方、3月8日には2月米雇用統計が発表される。米金利やドルの動向には注意が求められる。6日と7日にはパウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長の発言が予定されていることもイベントリスクになる。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



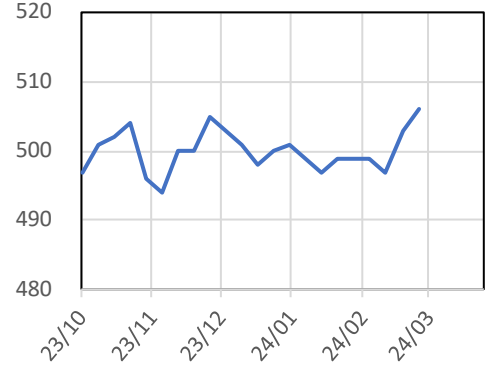
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

